

## 子ども食堂を通じた子育て支援

～母子生活支援施設が運営する子ども食堂～



### 取組みの経緯

愛光会では、母子生活支援施設として様々な子育て世帯と関わる中で、仕事や育児に追われ、生活にゆとりがないために親子関係がうまくいかないといった現状を目の当たりにしてきました。

そこで、食事の準備や片づけの心配をせずゆったりと食事をする機会を提供することで、生活にゆとりをもってもらおうと、平成29年から施設を活用して子ども食堂「のぞみおやこ食堂」を開設しました。

### ○活動データ

- ・実施頻度：月2回（隔週金曜日）
- ・利用者数：1回あたり20人程度
- ・取組みに関わる人員：職員2名  
地域のボランティア
- ・取組みに関わる主な経費：食材費

### 取組み内容

食堂は月に2回（隔週金曜日）に開催し、毎回20人程度の利用があります。「おやこ食堂」と称していますが、対象は親子に限らず、地域の方どなたでも受け入れています。新型コロナの影響で昨年からは会食を中止し、弁当の配布に切り替えて実施したところ利用者が増えており、ニーズの高さがうかがえます。

また、学習支援も併せて行っており、子ども同士が誘い合って学習に取り組んでいます。

### 取組みの成果・課題

- ・これまで家で保護者の帰りを一人で寂しく待っていた子どもたちにとって、新たな友達や信頼できる大人と出会う場所ができ、楽しく食事ができています。
- ・地域の高齢者と子どもたちが交流する機会が生まれ、高齢者にとっての活力にもなっています。
- ・施設に食堂があることで、退所した世帯が食堂を通じて施設との関わりを持続でき、支援を継続して行うことができている。
- ・地域の方の食堂への関心が高く、ボランティアで運営に関わっていただいたり、食材を提供していただいたりするなど、地域ぐるみでの子育て支援となっています。
- ・潜在的なニーズがあると感じており、それに対応できるよう開催回数や食事数などを増やしていきたいが、現状では難しいと感じています。

## 活動者コメント

- ・食事をとるとき子どもたちの笑顔を見て、とても喜びを感じることができ、励みになっています。
- ・地域の方や施設職員がこれまでの子育ての経験を活かし、同じ子育て仲間として調理の時短方法などを教える機会ができて、やりがいにつながっています。

## 利用者の声

- ・食堂がある日はいつもより元気に学校に行くことができます。
- ・いつも仕事で疲れ切って帰宅しています。月に2回でも食堂があると本当に助かります。
- ・子どもの食が細く、好き嫌が多いので困っていましたが、不思議なことに食堂ではたくさん食べ、嫌いな野菜も食べることができました。お友達と一緒に食べると食欲が出るようです。

## 社会福祉法人 愛光会

本部所在地／八頭郡八頭町宮谷222

電話番号／0858-73-0139

FAX 番号／0858-73-0149

法人HP／<http://aikoukai.sakura.ne.jp/>

他に実施している公益的取組み：

児童虐待ネットワークへの加入

生計困難者に対する相談支援事業（えんくるり事業）

